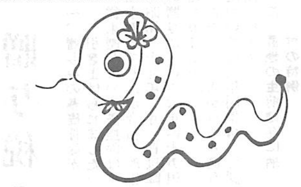


賀正

ひかーり

祝祭日には戸毎に
日の丸を
かかげましょう

発行所
光町役場
匝瑳郡光町宮川5,454の5
電話横芝242-243

年頭の御挨拶

町長　深田三郎

新年明けましておめでとうございます。輝かしい昭和四十年の新春を寿ぎ、町民各位の御多幸を御祈りするとともに、本年も又よい年でありますよう念願するものであります。

十年一昔と申されておりますが、今の時代にこれがそのまま当てはまるかどうかは別として、ともかく当町も合併後十年を経過して一つのくぎりがついたともいえるのであります。そこで、年の始めに当り心をあらたにして新らしい構想のもとに、町の今後の在り方を考えて見たいと思います。

農業こそ立町の基本

光町の姿を改めて見なおしますと産業の七十%以上を占めている農業があくまで基本であることです。この農業を如何に振興していくかが、今後の町発展の大きな課題であると思います。このことは国や県においても盛んに論議されており、そのあらわれとして農業構造改善、農業の体質改善が大きく取り上げられてまいりました。

農業も、過去にくらべたしかにそのやり方も機械化され、農作技術も進んでおり人手も昔ほどかからなくなりました。しかし技術の進歩によって、米や麦の反当り収穫は増えておりますが、売る値段になると特殊な作物を除いては農家の希望する値段には売れません。要するに、機械化により若干手間が省けても経費をかけた割には儲からないのが現状であります。昨年の甘諸の安値がその例であります。このような不合理な農業のやり方を建て直す、いわゆる農業構造改善こそが大切になってきたのであります。当町においても本年はいよいよ実施地域として指定を受けて、西高野部落が当町のモデル地区となって実施に入りますが、もとより全地域実施が理想でありますので、農家のみなさんの御理解を頂き農業の体質改善と併せて強力に推し進めたいと思います。このためには、下部地域の区画整理の早期完遂、産業道路の整備、畑作転換への助成等の諸施策を、積極的に遂行していかなければなりません。

また、農協の統合問題は、町村合併と同時に当然なさるべきでありましたが、それぞれの事情から延びておりましたが最近は県の要望もあり、又周囲の状勢からしても漸く機運が高まって参りましたので、統合に際しては一切の条件を大乗的見地に立ってことに当り、みなさんの深い理解の下にスムーズに解決されるならば現下の農村問題解決におおきな利益がもたらされるものと思われますので、これまた農業構造改善と相まって実現に努力いたしたいと思います。

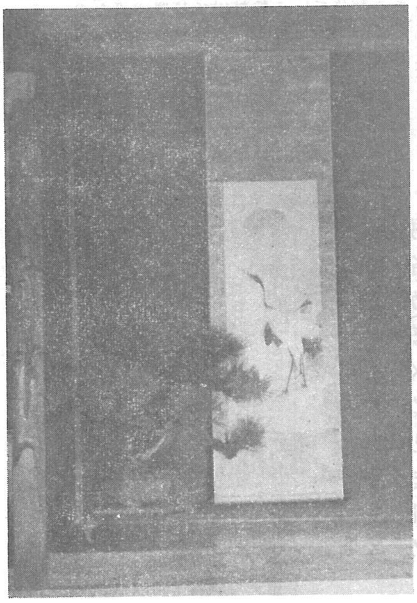
工場誘致で農家の余った労力を消費

一方懸案の新国道が、母子地先で既に着工されましたので、完成の後には交通経便のこの沿線はもちろん栗山川沿岸等の適地に工場誘致を図り、農家の余剰労力をこれに向け、在来の中小企業をも併せて第二次産業の発展を期し、交通の便利な橋場地域を住宅地としていったならば町の発展は期してまつべきものがあります。これに伴って観光面では九十九里海岸の風光明媚な自然の地を活かし、夏の海水浴客ばかりでなく四季を通じて観光客の誘致ができる環境と施設の充実を図りたいと思います。このように述べてきますと限りない夢がありますが、これ等を一つ一つ実施し、近代的な町としてその機能を与えた大光町の建設こそが今後に与えられた課題であると確信いたします。

これらの問題は決して一年や二年で実現できるものではありません。今こそあらゆる面からみた綜合計画を真剣に考え樹立し実施していくことが我々の使命であると思います。

私も愛郷の精神においては何人にも劣らない熱意であります。この使命に向って驚馬にむち打って進む決意を年頭に当って一層深くしたのであります。

何卒町民各位も光町百年の大計に向って益々御協力と御支援を賜りたく御願い申し上げ年頭の所感の一端といたします。



新年のごあいさつ

議会議長　鈴木喜代司

皆様あけましておめでとうございます。町民ひとしく健康で新年を迎えお祝い出来るということは、この上ない慶びでおります。新しい年を迎えるたびに心身ともに若返るような気がいたしますのは、わたくしばかりではないと思います。光陰矢のごとしとか昨年は町制施行十周年記念式典が行なわれまして、当町もあらゆる面でます基礎が出来たわけであります。これも町民皆様の並々ならない忍耐と努力、ご協力の賜と心からお礼申しあげます。しかし、みんなが健康で豊かな生活をするためにはまだまだやらなければならないことが山積しております。

教育、産業、福祉といづれも重要なことばかりです。特に本年は農業構造改善事業が実施の段階となり、農家経済の成長をはかるべくスタートするわけであります。ここ数年間の経済成長はめざましいのがありますが、産業間の格差がはげしく、特に農業の遅れは否めませんが、町は特に力を入れなければならないと考えます。又最近青少年の非行化が大きな問題にたっております。県も非行化防止のために「青少年健全育成条例」をつくり知事が力を入れておりますが、一番大事なものはやはり家庭であります。それぞれの家庭があたたかくなければなりません。この問題は一朝一夕には解決できませんが、心身ともに健康な人づくりに力を入れなければならないのであります。

新しい年に期待をかけ、わたくしたち議会議員は常に町民の代表であるという誇りをもち、全員一体となって議会を円滑に運営し町民の意志を町政に反映させ町発展を期して邁進する覚悟でございますので、昨年に倍しご協力を切にお願いし皆様のご多幸をお祈りいたしましてごあいさつといたします。

表＝彰

功労者　優良団体

昭和四十年新年祝賀式が役場会議室において元旦午前十時から町長をはじめ町議会議員、各種団体長及び町職員等多数参列し新年を祝福した。

続いて次の方々並びに団体に対し功労者、優良団体として、表彰又は感謝状の贈呈が行なわれました。〈順不同〉

自治功労者
加瀬益雄
原方一三三八の一

二十九年光町発足以来長期に亘り町選管委員長として数多くの選挙の管理執行と公明選挙の推進に尽した。

納税功労者
辻第二納税組合長伊橋実
木戸九五七一の一三

二十八名の組合員を指導し恵まれない環境を克服、良く納税思想の高揚に努め良好なる成績を挙げる。

農事功労者
農業労働力調整委員
深田正就
虫生四二六

現在南条農協常務理事を兼ね元同組合長、農業委員、土地改良工区長等として地域農業振興に尽された。

観光功労者
伊藤貞吉
尾垂イ二、六五三

自ら無償にて土地を提供し尾垂海岸に成田山不動明王上陸の記念碑建立に尽す等、地域観光事業発展に尽力する。

社会福祉功労者
光町遺族会長　林　敦
日篠一一九

光町遺族会結成以来会長として戦没者と遺家族の意を体し遺家族援護並びに会の運営発展に尽された。

母子福祉推進員　布施あき
市野原二六九

三十一年七月以来母子福祉推進員として永く婦人の地位向上に努めると共に母子家庭の福祉推進に努めた。

民生委員　小林喜雄
木戸一、四五九（山桝）

三十年九月民生委員に就任以来比較的条件の恵まれない地域を担当し、よく責任を自覚民生委員の本分を完うする。

光町老人クラブ連合会長
秋葉重郎
木戸八五五〇（長塚）

各部落に単位老人クラブが結成され更に町連合会が結成されるや連合会長となり会の育成発展に尽力。

社会教育功労者
光町婦人会南条支部長
須合さと
小川台一三二七

社会教育委員、町婦人会南条支部長の職に在り、よく地域社会教育の向上に努める。

社会教育委員　伊藤秀雄
宮川三、五五六（古屋）

町発足以来社教委員、県社教指導員及び東陽小ＰＴＡ副会長として社会教育進展のため尽力。

統計功労者
農林統計調査員
向後家治
木戸九〇五（山桝）

二十一年六月以来農林統計調査員とし、又その間国勢調査、世界農林センサスに従事優秀な成績を挙げた。

善行者
坂本靖子
宮川五九八八の一（橋場）

去る十一月二十日夕方自宅前踏切上で自動車事故発生し、折から進行して来た列車を新聞紙を燃し停止させ、大きな事故を未然に防止する。

団体
五ノ神区
代表者　大木正春

区民一致協力道路の改修保全に努め特に部落に道路補修工具の備付、定期的に道路補修を行う等土木行政に積極的に協力

木戸、年金保険料納付組合
代表者　畔蒜光雄

国民年金法が施行と同時に組合を結成以来保険料納付に優秀な成績を挙げる。
被保険者数　一二九名
検認率　百%

白浜地区たばこ耕作組合
代表者　吉田堅司

二十四年、町内で最も早く結成、組合員五十四名、よく耕作改良に努め佐原専売公社管内に於いても最優秀である。

宝米年金保険料納付組合
代表者　小川良

三十六年八月国民年金法施行と同時に組合を結成し一七二名の組合員協力保険料納付に優秀な成績を収める。
検認率　百%

青葉少年団
代表者　向後富士太郎

橋場地区小学校五年以上の児童をもって組織し環境美化のため尽力しつつある。

篤志寄附者
真栄商事株式会社
海水浴場歓迎アーチ　一基

議会だより

十一月九日午前九時から役場で臨時町議会が開かれました。

議案は「光町青年館の設置及び管理に関する条例の制定について」「昭和三十九年度光町一般会計補正予算」「昭和三十九年度光町と場特別会計補正予算」の三議案が提案され、それぞれ原案可決されました。

成人式のおしらせ

一月十五日の成人の日は、「おとなになった事を自覚し、みずから生きぬこうとする青年を祝いはげます日」とされています。

当町も一月十五日、光中体育館を会場に合同祝いを行い新しく成人となった者を祝福し、青年をはげますにふさわしい催しものが計画されているが、この祝日が一層意義ある充実したものとするために町をあげて成年に達した男女青年の新しい門出を祝福して下さい。又成人者も当日は華美な服装はさけ、御気軽な気持ちでお出で下さるようお願いします。

なお今年の該当者は、昭和十九年一月十六日から二十年一月十五日までの間に生れた方で、町内在籍者はもちろん町外に籍を移した方でも、地元で成人式を迎えたい方は遠慮なく早めに、役場教育委員会事務局まで御申し込みください。

光町老人クラブ連合会結成さる

老人の福祉に関する法律が昨年八月施行されるや、町社福関係者並に民生委員の指導協力により、今や光町全域に亘り二十八の老人クラブ（その会員数千三百名）が誕生し、更に結成されようとして居ります。

また、九月二十五日には、風光明媚なひかり荘に於て光町老人クラブ連合会の創立結成式が挙行され、町当局より町長はじめ多数の来賓が参列いたしました。

町長の祝辞に対し、初代会長になられた秋葉重郎氏より、今後は益々老人の福祉に尽すとともに今までの人生体験を生かし町制に寄与したい旨謝辞があり、盛会裡に結成式は終了いたしました。

尚連合会役員は次の通りであります。

会長　秋葉重郎
副会長　鈴木弥平
〃　大津頼順
〃　青柳秀
理事　仲村秋次郎
〃　小倉慶蔵
〃　向後清重
〃　伊藤茂
〃　飯田伊之助
〃　本橋正三郎
〃　布施喜一
〃　小西由良
監事　天川勉
〃　越川和一
〃　野村卓衛
〃　土屋太一